8月8日木曜日

1. 8時45分から受付開始
2. 9時30分から11時15分
3. セッション１ まちづくり・UD　第2会場　（S302）

座長：原 利明

視覚障害者の公共建物内一般用トイレの利用実態調査　－ 2000年実態調査との比較を通じて － 　石原　雄太(株式会社LIXIL)

パブリックトイレにおける男女共用トイレのニーズ　　－異性による介助・同伴や性的マイノリティ（LGBT）のトイレ利用に関する研究－ 　佐藤　敬子（TOTO株式会社）

施設内トイレでの排泄介護負担感と環境改善ニーズの研究 　福井　克也（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）

移動等円滑化促進方針（マスタープラン）の策定方法に関する一考察 　磯部　友彦（中部大学）

奄美大島大和村における集会施設の利用実態 - 離島におけるコミュニティ空間に関する研究 - 　田中　直人（島根大学）

ロンドンオリンピック・パラリンピック大会レガシーに対する障害当事者の評価と参加 　菅原　麻衣子（東洋大学）

コペンハーゲンのまちのアクセシビリティに関する実態と障害当事者評価　菅原　麻衣子（東洋大学）

1. セッション２ 防災・安全　第3会場　（S303)

 座長：沼尻 恵子

生活道路に対する住民の交通安全性評価の因果構造に関する研究　長沖　嶺（呉工業高等専門学校専攻科）

災害発生時の福祉介護施設が担う避難所としての現状と課題 　中野　ひとみ（学校法人中国学園　中国短期大学）

避難勧告時における自主防災組織の活動評価-平成30年台風24号 豊田市を例に‐ 　野村　章悟（株式会社 ジオインフォマティックス）

被災地の住環境の変化が独居高齢者に与えた影響―町内転居者と町外転居者の比較ー 　鈴木　るり子（岩手看護短期大学）

北海道胆振東部地震が地域で暮らす難病患者・障害者に与えた影響について 　中岡　良司（NPO ホップ障害者地域生活支援センター）

進行型災害における障害者の避難行動の実態と課題-倉敷市真備町を事例に 　石塚　裕子（大阪大学人間科学研究科　未来共創センター）

認知症者の外出の理解に向けて 　松原　淳（交通エコロジー・モビリティ財団）

1. セッション３ 教育・観光　第4会場　（S202)

 座長：大森 宣暁

地域でデジタルものづくりができる支援者養成プログラムの開発 〜3Dプリンターを用いた支援サービス活動のために〜 　渡辺　崇史（日本福祉大学）

360度バーチャルツアーを用いたクルーズ船のバリアフリー調査 　江守　央（日本大学理工学部）

市民のバリアフリー意識の啓発に向けたバリアフリーハンドブックの類型化　―千葉県市原市の特徴を活かしたバリアフリーハンドブックづくり― 　齋藤　望（日本大学）

小学生の障害者等に関する意識調査　～北区バリアフリー基本構想策定作業から～ 　丹羽　菜生（中央大学研究開発機構）

伝説の山　大江山　の管民学によるトレイルルート開拓と案内ガイドづくり 　久保　雅義（大阪芸術大学）

大手企業におけるSDGsの社内導入意識調査 　黒川　百花（日本大学）

宿泊施設の一般客室における浴室出入口幅と前面通路スペースに関する研究 　丹羽　菜生（中央大学研究開発機構）

1. セッション4 案内・誘導　第5会場　（S203)

 座長：長野 博一

市営交通（地下鉄およびバス）のサインシステム基準作り 　萩野　美有紀（アール･イー･アイ株式会社）

旅客通路を想定した仮想空間における誘導サインの視認性評価　ー車いす使用者の視点を対象としてー 　太田　耕介（日本大学）

眼科専門病院におけるトイレ内の操作ボタンの改良 　井上　賢治（井上眼科病院）

３次元点群データを用いた歩道空間のバリアフリー基準による評価に関する研究 　奈良部　昌紀（日本大学）

駅ホーム縁端部の注意喚起表示がロービジョン者の歩行安全に及ぼす影響 　大野　央人（鉄道総合技術研究所）

低突起型点字プレートがトイレ利⽤者へ与える影響　-視覚障害者のための屋内誘導システムに関する研究（その4）- 　桑波田　謙（株式会社クワハタデザインオフィス）

公共交通機関における視覚障害者誘導用ブロックの敷設実態と課題 ―歩行訓練士の視点から― 　堀内　恭子（日本歩行訓練士会）

8月8日午前の部プログラム終了

8月8日午後の部に続く

以上